

## 2013 年度 第 2 回 CPC 研究会

日 時: 6 月 14 日(金) 13:30 ~ 16:30

会 場: 連合会館 201 号室

(〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台 3-2-11) TEL: 03-3253-1771

参加費: 維持会員・大学官公庁関係 = 無料 / 非会員 = 15,000 円

13:30 ~ 14:55

### 「炭素繊維の現状と将来展望」

東邦テナックス株式会社 伊藤 哲也 氏

- 1) 帝人 G のご紹介
- 2) 炭素繊維の特徴と市場動向
- 3) 用途別展開
- 4) 世界に誇る日本メーカーの国際競争力と諸外国の動向
- 5) 飛躍的成長実現のために解決すべき技術的課題と解決に向けた取り組み

炭素繊維は、開発から半世紀が経過した今、その「軽い」、「強い」特長が、燃費改善、二酸化炭素削減に貢献する環境素材として、飛行機・自動車をはじめとする様々な分野から大きな期待を集めている。本講演では、炭素繊維市場の概況、及び炭素繊維・複合材料の特長・製法・用途について理解を深めると共に、同市場の飛躍的成長実現のために解決すべき技術的課題と、解決に向けた取り組みについて説明する。

15:05 ~ 16:30

### 「グラフェンにおける界面効果」

法政大学 高井 和之 氏

- 1) グラフェンの基礎
- 2) 端部位の効果
- 3) グラフェンにおける磁性
- 4) 吸着物による電子物性への影響
- 5) 基板界面との相互作用

グラフェンは物理的および化学的観点から非常に特異的な性質を有しており、近年、主に有望な次世代電子デバイス材料として大きな注目を集めている。しかしながら、電子デバイス応用に関しては微細化に伴う端部位の影響の問題や、表面のみで構成された原子膜物質である特徴に由来した強い環境効果の問題についての多くの知見が必要となっている。本講演では端の存在が電子の伝導・磁性に与える効果と大気中における吸着物および基板から受ける相互作用による電子物性への影響について解説する。

CPC 研究会講演会事務局行 FAX:029-861-8712 または e-mail: [sec@cpc-society.org](mailto:sec@cpc-society.org)

6 月 14 日の研究会に出席します(連合会館)

お名前 : \_\_\_\_\_ 維持会員      非会員      大学関係  
ご所属 : \_\_\_\_\_  
Tel : \_\_\_\_\_ Fax : \_\_\_\_\_  
E-mail : \_\_\_\_\_